

探究講座②「探究活動を始める前に ～研究倫理・引用・自己に向き合う～」

1. 本時の目標

- ・探究活動を始める前に必要なこととして、研究倫理や引用についての基本的な理解を深める。また、本校の倫理規程なども読みながら、本校の探究活動の進め方を学ぶ。
- ・探究活動のテーマやリサーチクエスチョンを決定していくための前段階として、自分の興味・関心があること、好きなこと、将来のキャリア（進路）の方向性などを、改めて深く考える機会とする。

2. 本講座で生徒に身につけて欲しいコンピテンシー

本講座では、本校 SSH で定めた具体的なコンピテンシーを育成させるというよりは、上記 1.本時の目標にも示した通り、探究活動を始める前に必要な研究倫理や引用についての理解を深め、(探究活動を含めた) 様々な場面で実践できるようになることが重要である。

また、探究活動に前向きに取り組めるようなテーマを見つけるためにも、自己を見つめ直す時間は必要であると考えている。本校設定のコンピテンシーとしては、「探究することへの主体性や強い意欲」の向上を目指している。

3. パフォーマンス課題と評価手法(ルーブリック)

【パフォーマンス課題：知識・技能】

探究活動後に Google フォームを活用したテストを実施し、研究倫理や引用についての基本的な理解の度合いを評価する。

【評価手法（ルーブリック）】

本時は設定しない。

4. 本時の展開

探究講座②「探究活動を始める前に ～研究倫理・引用・自己に向き合う～」 1・2時間目

時間	学習の内容	教材
0	出欠確認, プリントの配布	
5	テーマ1「探究するにあたってのルール・注意事項 ～ 研究倫理 ～」 Q) 本校には研究倫理規程があります。倫理規定ではどんなことに配慮をしているだろう？倫理規定を無視して探究活動をすると、どのようなトラブルになるのか考えてみよう！ → グループを作って班ごとに意見を出し合う。 → 倫理規程（特に、研究倫理規程 第3条）を見せながら、倫理規程の意義や研究倫理について講義する。	フリーボード スライド 1-14 本校研究倫理規定
30	テーマ2「探究するにあたってのお作法 ～ 引用の仕方 ～」 ・引用の重要性について学ぶ。直接引用, 間接引用の仕方について理解する。引用文献の作り方を理解する。	スライド 15-20
45	(休憩)	

55	<p>テーマ3「生成AIと正しく向き合うために」</p> <ul style="list-style-type: none"> • どのような生成AIを使ったことがあるかを話し合う。 • 生成AIの種類や仕組みを理解する。 • 生成AIを利用するにあたって気をつけることを理解する。 	<p>スライド21-31</p>
65	<p>テーマ4「探究する前に自分と向き合う」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 探究活動を自分らしく進めるためには、テーマを考える際にいくつかのアプローチの仕方 (ex. 興味・関心, キャリア, 社会問題) がある。 • 学術研究の分野の紹介, 社会問題の事例としてSGDsの紹介, 本校の探究グループの紹介を行う。 	<p>ワークシート スライド32-36</p>
80	<ul style="list-style-type: none"> • マンダラートを使って, 自分の興味のあること, 自分のキャリアなど深く考えてみる。 • 2人組くらいになり, お互いのマンダラートを見せ合い, 自己紹介をしよう。 • マンダラートを回収する。 	
90	<ul style="list-style-type: none"> • 今月の課題の確認, 期末テストへの連絡 	<p>Google Formアンケート</p>